

改善事例12編で発表会

NIPPOグループ

NIPPOは1月26日、東京都内で「第12回NIPPOグループ改善事例発表会」を開いた。全国の支店と技術研究所、海外事業所をウェブ会議システムで接続。12支店から集まった71編から選考された12編を発表した。役員や本社部長らが審査し最優秀賞1編、優秀賞1編、審査員特別賞2編を選んだ。

これまで事例研究発表会として開催していたが、今年から現場で各自が改善した事例にフォーカスし「改

吉川社長（中央）らと発表者が記念撮影（NIPPO提供）



善事例発表会」に改称。技術系だけでなく事務系（人

事・総務・営業など）も含めた全部署に拡大した。

発表は2部構成で行われ、安全や環境、生産性向上、カーボンニュートラル、人材育成、合材製造技術、製品販売、品質管理、施工技術、ICT（情報通信技術）などをテーマに改善事例を報告した。最優秀賞に中国支店の堀浩氏が発表した「再生合材の製造方法に関する改善事例」を選んだ。

吉川芳和社長は「発表者は質疑応答にも的確に答え、素晴らしい内容だった。今後は各支店でさらなるレベルアップと水平展開を図ってほしい」と呼び掛けた。

企業発表会

改善事例を水平展開

NIPPO

NIPPOは1月26日、「第12回NIPPOグループ改善事例発表会」を東京都中央区のMETTING SPACE東京八重洲で開いた。新型コロナウイルス感染防止の観点から会場は入場者数を制限するとともに、ウェブでの配



信を行った。

従来の発表は、技術系を中心としていたが、今年度から事務系も含め全部署に拡大したほか、各自が改善事例にフォーカスしているため、名称を「事例研究発表会」から「改善事例発表会」とした。

12支店（グループ会社を含む）の71編から選ばれた安全、環境、生産性向上、カーボンニュートラル、働き方改革、リクルートなど12編の発表が行われた。

吉川芳和社長は「発表者が自分の経験を自分の言葉で説明し、質疑応答にも的確に応え、大変よい発表会だった。今後は、支店でのさらなるレベルアップ、水平展開を図ってほしい」と講評した。写真。

審査の結果、最優秀賞には堀浩氏（中国支店）の「再生合材の製造方法に関する改善事例」、優秀賞には鈴木貴士氏（関東第二支店）の「合材工場の燃費向上に関する改善事例」、審査員特別賞には原田夕子氏（中部支店）の「営業活動における改善事例」、柏澤佑氏（北信越支店）の「リクルート活動に関する改善事例」が選ばれた。